

19

歴史

変わりゆくアジア

教科書 P.180~P.181

学習の目標:

◎変わりゆく東アジア

・日本はポーツマス条約締結後、韓国を保護国とした。

・1910年 ① 韓国を領有し、朝鮮と改めさせた。→ **日本の植民地化**

◇短歌から初代朝鮮総督と石川啄木が韓国併合をどのように見ていたか読み取ろう。

初代朝鮮総督:

石川啄木:

韓国併合をよんだ短歌

初代朝鮮総督の歌
 [小早川・直謙・小西が世にあらば
 今宵の月をいかに見るらむ]
 公秀吉の命令で朝鮮で戦った(-p.107) 3人の大名
 (寺内正毅作、1910年)

石川啄木の歌
 [地図の上 朝鮮国にくろぐると
 燕をゆりつつ 秋風を聴く]
 (『創作』より、1910年9月)

◎韓国・満州に対する日本の政策をまとめよう

朝鮮

満州



1906年に発足し満州経営の中心的存在となった企業 → ②

◎アジアの国は当時の日本の動きをどう見ていたのだろうか




日本のロシアにたいする勝利が
 どれほどアジアの諸国民をよろこばせ、こおどりさせたかを、われわれはみた。ところが、その直後の成果は、少数の侵略的帝国主義諸国のグループに、もう一国をつけくわえたというのにすぎなかった。そのにがい結果を、まず最初になめたのは、朝鮮であった。
 <ジャワーハルラール=ネルー著 大山聰訳『父が子に語る世界歴史4』より、一部要約>

◎アジア初の共和国の誕生



人物名:

三民主義とは ...

- 1911年 ①]での反乱をきっかけに、清を倒そうとする動きが本格化する。
- 1912年 ②]が臨時大総統となり、アジア初の共和国である 
- ③]の成立を宣言し、清が滅亡する。
- 1912年 ②に替わり、④]が大総統に就任し、首都を北京に移す。

コメントの追加 [孝浩1]: Q これはどこの国の様子だろう
 →当時の韓国の総督府の写真を提示
 日本がポーツマス締結後、韓国を支配したことをとらえる。

コメントの追加 [孝浩2]: Q 右の資料(インドの首相ネルー)の文章を読んで説明してみよう。